

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 消防-13 鎌倉・大船消防署警防活動事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名						
主管課	鎌倉消防署大船消防署	関連課					
分野名	地域安全						
目標 (目標値)	救急件数の少ないまちづくり 火災件数が前年度より減少するよう火災予防の啓発を図る。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運 営 資 源 状 況	決算値						
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)						
	人員配置数	177.0人	171.0人	171.0人			
	人 件 費	1,698,605千円	1,655,199千円	1,664,083千円			
	協 働 の パートナ						
事務事業 運営経費	総事業費	1,698,605千円	1,655,199円	1,664,083円			
	市民1人当 りの経費						
	対象者1人 当りの経費	9,625円	9,410円	9,506円			
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
火災件数	○	目 標 値	31	35			
		実 績 値	35	28			
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
救急件数	○	目 標 値					
		実 績 値	8189	8008			
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目 標 値					
		実 績 値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目 標 値					
		実 績 値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) <ul style="list-style-type: none"> 限られた人員の中で効率よく研修を行うこと。 専門職の養成 災害現場での経験不足 市民への防火意識向上の啓発
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) <ul style="list-style-type: none"> 管理職による職場巡回 当直中の研修の実施 実践的訓練の実施 あらゆる機会を通じ市民に防火意識の高揚を図った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) <ul style="list-style-type: none"> 当直業務中における訓練時間の確保及び工夫
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) <ul style="list-style-type: none"> 様々な課題の抽出・整理を行い、実践的訓練の実施に努める。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性
	<ul style="list-style-type: none"> 職員の知識技術の向上を図ることはもとより、市民に対する防火意識の向上も図る。 普通救命講習の受講者の増員を図る。 		無
担当課長氏名:	堀 英彦		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性
	今後も継続して、消防力の充実強化を図る。		無
担当部名	消防本部	部長名	畑 光則